

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 蛋白質中 D-アミノ酸を基盤とした未知生命科学研究領域の開拓
2. 研究代表者： 高田 匠（京都大学 複合原子力科学研究所 放射線生命科学研究部門 放射線生化学研究分野 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

研究項目 1～8 のうち、まずは項目 1～6 に重点を置く研究計画としていただきたい。特に、フェーズ 1 の残課題となる項目 1 の計測技術を確立することで、項目 2 の加齢疾患分子マーカーの確立や、項目 3, 4 の研究の完成度を高めることが期待される。フェーズ 1 の成果を基盤として、フェーズ 2 の項目 5 では応用展開が、項目 6 ではタンパク質劣化の根本要因の特定が期待されることから、項目 1～6 の進捗により体系的で大きな研究基盤が確立すると思われる。項目 7, 8 は研究の目的や特性が項目 1～6 とは大きく異なるので、余力を見て行うことが望ましい。

以上